

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和6年度（2024年度）授業研究(等改善)セミナー

道央・外国語 実施報告



実施状況

令和6年（2024年）10月23日（水）、北海道札幌啓成高等学校を会場に「外国語における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」と「ICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導」をテーマとして、授業研究セミナーを開催し、道央ブロックから26名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の推進を目的に御活用ください。

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事・研究研修主事3名合計7名からなる「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案検討会を3回実施しました。学習指導案検討会での協議の中心は、限られた授業時間で4技能領域をバランスよく伸ばすため、単元内で外国語における探究的な学びを深め、大学入学共通テストに対応できる力につなげることでした。

単元の目標に迫るため、論理的とはどういうことか改めて見つめ直し、生徒の思考と表現をどのように揺さぶったらよいかにこだわりました。



【研究授業】北海道札幌啓成高等学校 北橋 美由紀 教諭

英語コミュニケーションⅢの単元 Chapter8 What You Eat May Affect Your Environment において、「多角的な視点で論理的に自分の意見をまとめる力の育成」をねらいとし、設定した課題「地球環境に配慮したこれからの焼肉店経営について（詳細は学習指導案参照）」に向けた研究授業を行いました。



生徒たちは、設定された課題を自分事として捉え、本単元で読んだり聞いたりした情報をもとに自らの考えを構築し、論理的に英語で表現するために整理したり活用したりしました。この作業の中では、自分が使いやすいツール（ハンドアウト、スマートフォンなど）を自由に駆使する「学びの個性化」が見られました。また、他者とのやり取りを通して自らの考えを深めたり、表現をブラッシュアップしたりして、深い学びにつなげていました。

[学習指導案リンク](#)



[ワークシートリンク](#)



【研究協議】 1 「外国語科における探究的な学び」

2 「大学入学共通テストを踏まえ、今どのような授業が求められているか」

☆☆ 研究授業実施後、研究協議を行いました。協議の中では、次のような意見が出ました。



1 「外国語科における探究的な学び」

「そのために教師ができること」

- 生徒が課題を自分事にする工夫
- 各学年、発達段階に応じ、3カ年かけて培いたい力を育成
- 教師が学び続ける必要性、多くのことに興味をもつ姿勢
- 総合的な探究の時間とのつながり

外国語科における探究的な学び = 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

2 「大学入学共通テスト（試作問題）を踏まえ、今どのような授業が求められているか」

- アウトプットに注力した授業づくり（ディベート、プレゼンテーションなど複数技能を統合した言語活動や、生徒の習熟に応じ、英語で読んだことについて日本語で話し合う活動など）
- 教科等横断的な学びを生かし、課題解決に向けた知識を深めたり思考を広げたりできる授業づくり
- 探究的な学びを深め、学習の個性化を図るツールとしてのICT
- 読むことや聞くことについて定着を図る工夫も必要。



「授業は、もっと工夫していける！」

セミナー参加者の声

◆◆ 学んだこと、感じたこと ◆◆

- 学習指導案や準備していただいた資料がとても練られており、探究的な学びの一連の流れを認識することができました。
- 実際に生徒が調べている情報の内容や、自分の意見をまとめて相手に伝えている様子を見聞きできたことで、理解がより深まりました。
- 今後求められる英語教育や、共通テストに向けた授業の在り方について理解が深まりました。
- 自分の中で探究的な学びと授業が結び付き、有意義な研修でした。
- 逆向き設計で最後の難しいテーマに挑めるように生徒を誘導する仕掛けが素晴らしかった。
- 一つの単元でこれだけ計画的に探究的な学びを設定した授業を、初めて参観しました。

◆◆ 今後に向けて ◆◆

- 探究的な学びについて、今まであまり意識していなかったのが、今後実践していきます。
- 今回の授業実践や協議を通して、自校の生徒にどう活用できるのかを考え、授業改善に努めていきたい。
- テーマ設定を慎重にし、関係する知識や情報を多くもつよう心掛けたい。

